

令和4年6月（第3回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和4年6月15日（水）13：30～14：06
場 所 本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）
出席者 37／38
欠席者 三村副学長

○ 前回議事要旨の確認

令和4年5月開催（第2回）の議事要旨について、原案のとおり確認された。

○ 議 事

1 審議事項

（1）令和3年度 中期計画・年度計画の実施状況について

高橋理事の指名により、伊藤評価センター長から、令和2年度分までは中期計画・年度計画進捗管理シートの最終報告を学校教育法 第109条第1項に基づく自己点検評価として公表していたが、令和3年度に受審した大学機関別認証評価において、同法における自己点検評価には当たらないという指摘を受けたため、令和3年度分については、中期計画・年度計画の実施状況という位置づけで、最終的に、評価センターのホームページで公表したい旨発言があった。

続いて、資料1に基づき、令和3年度 中期計画・年度計画の進捗状況について、最終報告の検証結果の説明があった。計画に挙げられた取組みやその代替案が実施されているかを確認し、計画を達成できていない場合には、その理由、取組みの内容及びプロセスを考慮し、総合的な進捗状況を判断していること、また、4段階による進捗状況の分布について説明があり、審議の結果、承認された。

（2）第3期中期目標期間の業務実績評価について

高橋理事の指名により、伊藤評価センター長から、資料2に基づき、第3期中期目標期間の6年目終了時評価として、文部科学省へ提出する業務実績報告書及び大学改革支援・学位授与機構へ提出する達成状況報告書について、自己判定の状況と目標値を達成していない中期計画に係る判定の考え方について説明があり、審議の結果、承認された。

（3）大学機関別認証評価に係る対応状況報告書について

高橋理事から、資料3に基づき、昨年の大学機関別認証評価の評価結果で、改善を要する点として指摘されている大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程及び法務研究科における実入学者数が入学定員を大幅に下回っている（70%以下）状況について、改善された状況にあると大学が判断した場合は、対応状況報告書によって、各年度の6月15日から6月30日の期間に報告することになっている旨説明があった。本学の入学定員充足率の状況について、法務研究科は、平成29年度から令和3年度の平均は0.68であったが、平成30年度から令和4年度の平均は0.73と70%を超えたことから、改善された状況にあると判断し、大学改革支援・学位授与機構に報告する旨

発言があり、審議の結果、承認された。

(4) 教職大学院認証評価に係る自己評価書（案）について

高橋理事の指名により、高瀬教育学研究科長から、教職大学院を置く大学は教育課程、教員組織、教育研究活動の状況について、5年以内ごとに認証評価を受けることが義務付けられており、今回は3回目の受審となるもので、6月30日までに、自己評価書を一般財団法人教員養成評価機構に提出するものであることについて説明があった。続いて、資料4に基づき、自己評価書（案）が示され、10の評価基準領域とそれぞれ更に細分化された評価基準について、自己評価の状況について説明があった後、審議の結果、承認された。

(5) 岡山大学「養成する人材像」「学部・大学院3ポリシー」案について

舟橋理事から、資料5に基づき、大学院改組を踏まえ、また、新学習指導要領で学んだ学修者に対応し、「養成する人材像」として「主体的に変容し続ける先駆者」を策定し、そのような人材を養成するため、各課程における「3ポリシー」（卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー））をループリックス的に整理することについて説明があり、審議の結果、承認された。

なお、ディグリー・ポリシーについては、従前はディプロマ・ポリシーとしていたが、ディプロマは学位記や卒業証書の意となることから、正確な英語表記に修正したことについて補足があった。

2 報告事項

(1) 自己点検・評価の実施方針について

高橋理事から、資料6に基づき、5月の部局連絡会において自己点検・評価の実施方針の案をお示したところであること、また、「対象部局」、「自己点検・評価の観点（実施年度を含む）」及び「想定される根拠資料」について、各担当理事で検討いただいた結果を取り纏め、5月30日に開催した大学経営戦略会議で決定されたことについて報告があった。当該実施方針については、既に各担当理事及び各部局長に対して、令和3年度に係る自己点検・評価実施の依頼通知と併せて、6月1日付けで送付させていただいているので、協力いただきたいこと、また、令和4年度に係る自己点検・評価についても同様のスケジュールで実施予定であることから、準備を進めていただくことについて依頼があった。

続けて、自己点検・評価の結果については、令和4年9月の大学経営戦略会議に報告後、総括・検証を行い、諸会議による審議を経て、令和4年12月までに公表する予定であることについて発言があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、7月20日（水）13時30分から開催することとなった。

以上